げんまい新聞

第5号　日々の在宅医療介護に役立つ知恵と情報をお届けします

製作者
玄米
クリニック
西原町翁長834
トムズビル2階
☎098-944-6663

「訪問薬剤」で、お薬の悩みと不安を解決！

「たくさん薬があって、どれをいつ飲むのか分からなくなってしまう…」
「うっかり薬を飲ませ忘れてしまったことがある…」
「副作用が心配だけど、誰に相談したらいいのか…」
ご高齢の家族を介護されている方で、お薬の管理にこのような悩みや不安を抱えていらっしゃる方は少なくないでしょう。ご自宅での療養生活において、お薬は治療の要（かなめ）ですが、その管理はご本人にとってもご家族にとっても大きな負担となりがちです。

そんな時に、ぜひ知っていただきたいのが「訪問薬剤」というサービスです。

「訪問薬剤」って、どんなサービス？

「訪問薬剤」とは、薬剤師が患者さんのご自宅や入居されている施設を訪問し、お薬の管理や説明、相談などを行うサービスです。医師の処方せんに基づいて、ご自宅までお薬をお届けし、療養生活をサポートします。
薬局の窓口で薬を受け取るのと大きく違うのは、薬剤師が患者さんの生活の場に直接お伺いする点です。これにより、一人ひとりの生活スタイルや身体の状況に合わせた、きめ細やかなサポートが可能になります。

ご家族にとって、こんないいことがあります！
4つのメリット

① お薬の管理がぐっと楽に！飲み忘れ・飲み間違いを防ぎます

- 薬剤師が、処方されたお薬を日付や飲むタイミング（朝・昼・夕など）ごとに仕分けて、「お薬カレンダー」や「一包化（いっぽうか）」などを活用して整理します。これにより、ご家族の管理の手間が大幅に減り、ご本人の飲み忘れや飲み間違い、二重飲みといった危険を防ぐことができます。

② お薬の「なぜ？」が解決！副作用の不安も相談できます

- 「このお薬は、何のために飲むの？」「副作用は大丈夫？」といった疑問や不安を、ご自宅でリラックスしながら直接薬剤師に相談できます。薬の効果や注意点を丁寧に説明してもらえるので、安心して服薬を続けられます。体調の変化にいち早く気づき、副作用の早期発見につながることもあります。

③ 医師やケアマネジャーとの連携で、チームで支えます

- 薬剤師は、訪問を通じて得た患者さんの服薬状況や体調の変化などを医師やケアマネジャーに報告・共有します。「薬が飲みにくい」「副作用かもしれない」といった情報を専門的な視点で伝え、処方内容の変更提案などを行うこともあります。医療と介護の専門家が連携し、チームで患者さんを支える体制ができます。

④ 介護の負担を軽減し、ご家族の安心につながります

- 「薬局に行く時間がない」「体調が悪い家族を連れて行くのが大変」といった通院・来局の負担がなくなります。また、「お薬のことは専門家にお任せできる」という安心感は、介護されているご家族の精神的な負担の軽減にもつながります。

どんな人が利用できるの？費用は？

【対象となる方】
ご病気や加齢、障がいなどが理由で、お一人で薬局へ行くのが困難な方が対象です。

- 寝たきりや、歩行が困難な方
- 認知症などで、お薬の管理が難しい方
- その他、通院や来局が難しい特別な事情がある方

「うちの場合はどうだろう？」と思ったら、まずはかかりつけの医師やケアマネジャー、お近くの薬局にご相談ください。 サービスの利用には、医師が訪問の必要性を認めることが必要です。
【費用について】
このサービスは、医療保険や介護保険が適用されます。 自己負担額は、お持ちの保険証の負担割合（1割～3割）や、お住まいの建物の状況によって異なりますが、一般的には1回の訪問あたり数百円程度です。詳しくはお気軽にお問い合わせください。
（※別途、お薬代や交通費（実費）が必要になる場合があります。）

最後に

ご自宅で療養する高齢者にとって、正しくお薬を飲み続けることは、病気の治療や症状の安定に不可欠です。しかし、その管理はご家族にとって決して簡単なことではありません。
「訪問薬剤」は、そんなご家族の負担を減らし、専門家の視点で患者さんの健康と安全な療養生活を力強くサポートする心強い味方です。お薬のことで少しでもお困りでしたら、一人で抱え込まずに、ぜひ一度、かかりつけ医や薬局、ケアマネジャーに「訪問薬剤について聞きたいのですが」と声をかけてみてください。